

18 薄膜による光の干渉

(寺井貞次)

針金で四角い枠をつくりセッケン液につけて引き上げ膜を張らせる。これを鉛直に保持して、

① 干渉縞

② 可視光線について $d < \frac{\lambda}{4}$ になると反射光が見えなくなる。

などの観察ができる。②については、水分の蒸発に伴い膜の上部からこの状態になる。完全に無風であること。